

2025/3/3 (月)

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 4章 1-11節 (新約聖書4頁)

さて、イエスは悪魔から試みを受けるため、霊に導かれて荒れ野に行かれた。そして四十日四十夜、断食した後、空腹を覚えられた。すると、試みる者が近づいて来てイエスに言った。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」イエスはお答えになった。

『人はパンだけで生きるものではなく
神の口から出る一つ一つの言葉によって生きる』
と書いてある。」

次に、悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の端に立たせて、言った。「神の子なら、飛び降りたらどうだ。

『神があなたのために天使たちに命じると
彼らはあなたを両手で支え
あなたの足が石に打ち当たらないようにする』と書いてある。」イエスは言われた。「『あなたの神である主を試してはならない』とも書いてある。」

さらに、悪魔はイエスを非常に高い山に連れて行き、世のすべての国々とその栄華を見せて、言った。「もし、ひれ伏して私を拝むなら、これを全部与えよう。」すると、イエスは言われた。「退け、サタン。

『あなたの神である主を拝み
ただ主に仕えよ』と書いてある。」

そこで、悪魔は離れ去った。すると、天使たちが近づいて来て、イエスに仕えた。

目に見えないもの

昨日の主日礼拝で「レント」という言葉を聞いた人はいませんか。教会の暦では明後日5日水曜日から四月二十日のイースターまでの日曜日を除く四十日間をレント、四旬節、受難節、大斎節と言います。イエスが荒れ野で悪魔に試みられたことを覚える季節です。

最初はイースターの洗礼準備でしたが、次第に迎える信徒も共に修養の時としました。古来、日頃の生活をふりかえり、肉食など贅沢を控え、イースターにはそれを献金にして必要な人に献げ、私たちの罪のために十字架にかかり甦られたキリストを迎える準備の時としたのです。

悪魔は飢えるイエスに石をパンになるように、またこの世の栄華を見せて誘惑しました。エデンの園で蛇がイヴを誘惑した時、イヴは「その木は食べるに良く、目には美しく、また、賢くなるというその木は好ましく思われた」と伝えています。

イエスは悪魔の試みに対して、人はパンだけでなく神の口から出る一つ一つの言葉で生きる、神を試みてはいけない、主を拝みただ主に仕えよと主の言葉を聴き、信頼し、祈る大切さを伝えます。目に見えないものほど忘れやすく、目に見えるものほど心は奪われやすいものです。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、年度末を迎え、残り少ない日々、目に見えないあなたの恵み、導きをふり返る時を大切に過ごさせてください。そして争いのあるところに平和を、奪われた人々に必要なものを、あなたの慰めと励ましのためにわたしたちを用いてください。今日一日も、すべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン